

光輝会発足に向けて

2018年3月23日

中央大学研究開発機構

辻井重男

中央大学研究開発機構(機構長 築山修治教授)

辻井グループだけでも7,8名のシニア研究者

技術者・研究者の生涯は MSMS (Hobby?) Moratorium Specialist Manager Specialist

-
- 竹下秀俊 「シニアの科学教室での楽しさ」
- 電子情報通信学会誌 2018年3月号 (P304~) より
- 「日本の高度成長を支えた企業の技術者が、
- 定年後 手持ち無沙汰に毎日を過ごし、
- 生き甲斐や楽しみを感じられる機会を失っている。」

どちらが良いか

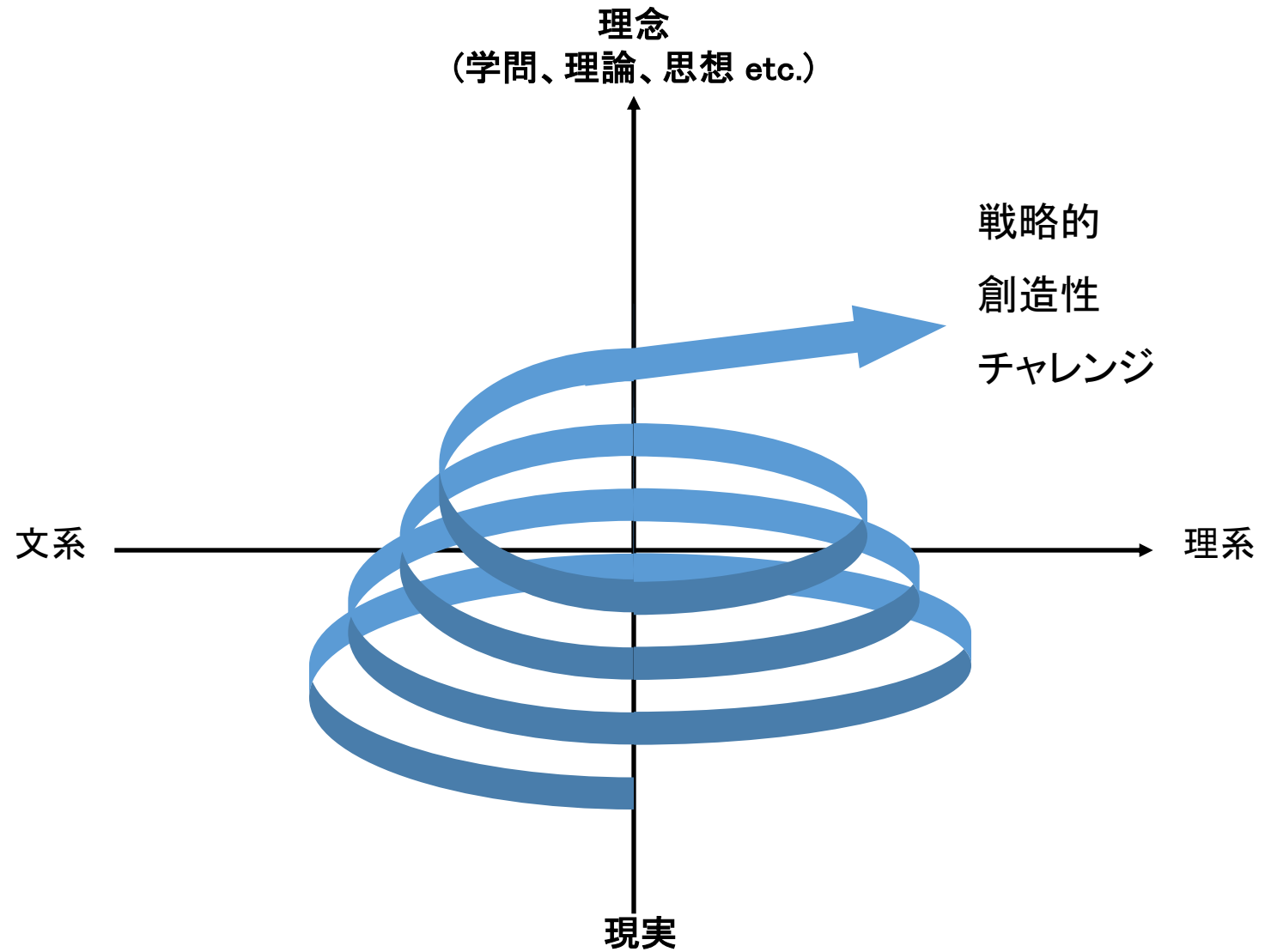
- 人の世に疲れ果てたるこの我は、
- 何望むなく、願うなく、懈怠の内に死を夢む（下の句は中原中也）

- あの世まで、夢を抱いて登る坂

- 「20歳からの20年も、60歳からの20年も同じだ」
- （原島 博 東大名誉教授 の定年退職会でのご挨拶より）

シニアの役割

-
- 現役世代の研究環境
- 短期的・実用化・計画研究 申請書・報告に追われる日々
- 自由研究は悲惨な状況 日本の将来は？
- シニア エネルギーは減少すれど
- 長い経験、広い視野、自由な時間・発想
- 環境・情報等 学際的・理念現実融合型研究が要請
-



求められる人材像